

三英傑の
足あとをたどって

Vol.1

徳川家康の 幼名は碧南市で つけられた？

問 市観光協会
☎95-9894



三英傑とは、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人の戦国武将のことです。碧南市には三英傑のゆかりの地や事柄があります。

大河ドラマ「どうする家康」の放送までいよいよ後一月となりました。これから1年、偶数月にこのコラムを通じて三英傑のゆかりの地や事柄をお伝えします。歴史好きの人はもちろん、今まであまり歴史に触れてこなかった人も、碧南市と三英傑のつながりを知ると、大河ドラマをより楽しめると思

います。まず今回は、徳川家康ゆかりの地「称名寺（築山町）」に関する事柄を紹介します。ガイドボランティアの大浜てらまち案内人が紹介する称名寺のおすすめスポットもあります。是非現地を訪れてみてください。



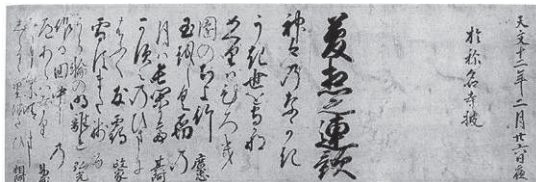
△称名寺（築山町）

家康の幼名「竹千代」の由来はお父さんの夢だった？

徳川家康の幼名竹千代の由来は、家康のお父さんである松平広忠の夢がきっかけだという伝承があり、称名寺では次のように伝えられています。

松平広忠は、天文12年（1543）2月26日の夜に、岡崎城で夢を見ました。夢の中で「神々のながきうき世を守るかな」という連歌の最初の句を得ました。広忠はこのことを大いに喜んで、毎月連歌会を催していた称名寺で連歌会を催しました。その折、広忠は最初の句を受けて「めぐりはひろき園のちよ竹」という第二句を付けました。

また、広忠は、前年12月26日に誕生した子の誕生を、この夢と引き合わせて喜んだので、当時の称名寺の住職に、子の名を付けるように命じたところ、住職は、夢の意に通じる「竹千代様」と名付けては、と答えたとあります。これが竹千代命名の由来だそうです。



△松平広忠の連歌の切並びに筆具（称名寺蔵）



△夢想之連歌の碑（称名寺）

大浜てらまち案内人おすすめスポット in 称名寺

01 徳川家祖廟

徳川家康の曾祖父である信忠をはじめとしたお墓が並びます。信忠は、子の清康にこの地に閉居させられたと伝わります。



02 山門から眺める称名寺

称名寺を訪れたら、山門から入ってみてください。左右のイチョウの木に挟まれ、なんとも趣深い眺めです。山門には徳川家の家紋である葵の紋があります。

